

★ 今年度の公立学校教員採用試験最終合格結果出る！

今年の公立学校教員採用試験の最終合格発表が、ほぼ出揃いました。下記のとおり、今年教職課程センターが公立学校教員採用試験の受験指導した学生諸君は20人で、そのうち18人が1次通過（1次通過率90.0%）、12人（+期限付合格3人）が合格しました。1次合格→2次通過率66.7%、受験→正規合格率60.0%（含期限付合格75.0%）。合格した人は、昨年「合格論文書き方講習」→「論文添削」、「面接講習」→「面接練習」、「教職教養講習」に一所懸命食らいついて来てくれた成果でしょう。本当によく頑張りました。どんな勉強をしたのか、試験はどんな様子だったのかなどの体験談を12月14日（土）3・4限（W304）に後輩に発表してください。この「合格体験談発表会」は3年生の「教育実習事前指導」という授業の中で行いますが、希望すれば1・2年生も参加できます。参加したい人は、教職課程センターで申し込んでください。教員採用試験は先手必勝！3年生になる前から準備を始めれば、現役合格率は格段に上がります。また、12月7日（土）3・4限（W304）には、東京都、神奈川県、埼玉県の教育委員会を招いた「教員採用試験説明会」を行います。こちらも3年生以外で参加を希望する人は、教職課程センターで申し込んでください。希望の自治体の時間帯だけに参加して話を聞くことが可能です。

★ 来年度以降の受験生諸君へ！

さあ、今度は君たちの番です。3年生は、この10月がスタート期限です！今月から準備を始めないと、来年の教員採用試験には恐らく間に合いません。言い換えれば、今から始めれば間に合います！今年の合格者の中には、昨今の今頃から始めた人が多いです。4年生で3年生の今頃から本気になって始めた人の現役合格率は、66.7%（9人中6人合格）でした。一般的に現役合格率は30%とされているので、これはかなり高い数値です。ただし、「本気になって」ということが条件です。合格論文書き方講習を受けただけで添削論文を書かなかつたり、学習指導要領講習や教育法規講習に参加したりしただけでは「本気」とは言えません。では、教採とはどんなものなのか、どんな準備をしたらいいのか？etc—それらは、ぜひ教職課程センターへ相談に来てください。相談室にはいい資料が揃っているので間違いなく役に立ちますよ。また、1・2年生なら試験まで十分な時間があるので、3年生と同じくらいの気合で今から頑張れば、合格率は恐らく80%を超えたいと思います。要は、君たちのやる気次第です。教職課程センターは、大抵のことには対応できます。さらに、私の専門は数学教育なので、数学の専門教養の試験が分からないときは指導しています。教職課程センターは学年不問です。大いに利用してください。ここ数日3年生の論文添削依頼が増えています。この人たちは、きっと来年の今頃は合格して喜んでいることでしょう。大いに期待しています。

★ 講習動画DVDの貸し出しについて

これまでに実施した「合格論文書き方講習」「学習指導要領講習」「教育法規講習」の動画をDVDに焼きました。パソコンのMP4フォーマットなので、自分のPCにコピーしたらDVDは返却してください。貸し出しと合わせて、当日の配布資料も渡します。こちらは返却不要です。昨今、教員の働き方改革の必要性が強く叫ばれています。教員採用試験の論文や面接にも出されています。教員の働き方改革の目的は、単に教員が楽をするためではありません。ここを間違えると合格しません。「現在の教育水準を維持しつつ、ICT機器などを活用したり、会議や書類作成を減らしたりして、授業や面談、部活動など教員が生徒と関わる時間を確保すること」が働き方改革の目的です。そこで、教職課程センターでも、君たちの論文添削や面接指導の時間を確保するために講習をDVD化しました。そうすることで、君たちは授業に関係なく、いつでも講習を受けることができますからです。ぜひ、頑張ってください！なお、「面接講習」は、法政大学のオンデマンド・コンテンツに上がっています。見たい人は、学務課へ問い合わせてください。

《公立学校教員採用試験の最終合格者数》

神奈川県：中数1名（卒業生）高数1名（4年生）高情報1名（院生） 埼玉県：中数2名（卒2）
さいたま市：中数1名（卒） 千葉県・千葉市：中数1名（4年生）中理1名（卒） 山形県：中理1名（卒）
東京都：[正規合格] 中高共通数2名（院1・卒1）特支理科1名（4年生）
[期限付合格] 中高共通数1名（4年生）中高共通理数1名（4年生）



★正規合格合計：数学8名 理科4名 情報1名 計13名（4年生3名 大学院2名 卒業生8名）

《今後の予定》10月30日（水）都立武蔵中高授業見学会 ★追加募集締め切り：10月21日（月）

「教採現役合格のための7か条」

9年間教員採用試験の指導をしてきた経験から、現役合格するためには幾つかの条件があるように感じます。それらを「教採現役合格のための7か条」としてまとめてみました。参考になれば幸いです。



【第1条】教採を知れ！

まず何といたっても教採のことを知らなければ準備のしようがありません。教採とはどんなものなのか、どんな準備が必要なのか、過去問では何が出ているかなど、教採に関する知識を得ることが第一歩です。教職課程センターには、このことについて漫画で学べる最適の資料があるので取りに来てください。学年も学部も学科も問いません。

【第2条】合格までのスケジュールを立てよ！

何事も無計画ではうまくいきません。関東地区の1次試験は、毎年7月7日頃です。そこまでにどんな勉強や準備をすればいいのか、全体像をつかむことが大切です。4年生の5月～6月の3週間は教育実習で教採準備ができません。

【第3条】教育(学習)ボランティアのススメ！

教採では、願書や2次試験で提出する面接票にボランティア経験を書く欄があります。教育(学習)ボランティアを経験していないと何も書けません。もちろん、面接でもたっぷり聞かれます。学習塾の講師はアルバイトなので、ボランティアではありません。飲食店等でのアルバイトは生徒の指導経験ではないので、書くのは避けた方がいいでしょう。現在、法政大学生・院生が参加している主な教育(学習)ボランティア先は、以下の通りです。先方と日程調整し、日程の会う日だけに参加することが可能です。ボランティアといっても交通費や手当が出る人が多いです。

- 都立広尾(ひろお)高校：私が前校長。定期考査前に自習室で生徒からの質問を受けて指導する。最寄駅は恵比寿。
- 台東区立柏葉(はくよう)中学校：直近卒業生が勤務。教採指導あり。特別支援学級の介護等の支援。最寄駅は上野。
- 杉並区立高南(こうなん)中学校：前副校長が法政大学工学部卒業生。最寄駅はメトロ新高円寺(大学から45分)。

【第4条】筆記試験の勉強開始は早めに！

1次試験の中心は、筆記試験です。内容は数学、理科、情報の専門教養と教育原理や教育法規などの教職教養です。自治体によっては、高校の科目である一般教養もあります。これらは、普通に勉強したら確実に時間が足りません。受験する自治体の傾向に合わせた効率的な勉強が重要です。例えば、東京都は一般教養がない代わりに教職教養で教育法規の比率が高いです。神奈川県などは一般教養と教職教養が両方あります。一般教養は範囲が広すぎるので、まずは専門教養と教職教養からやっつけましょう！参考書や受験雑誌などを用いて、とにかく知識を入れていくことになります。特に、指定校推薦や附属高校推薦で法政大学に入学した人は大学受験を経験していない分、専門教養に課題があることが多いです。合格するためには、一般受験入学者よりも更に早いスタートが求められます。模試もおススメです。

【第5条】論文を制する者は教採を制す！

論文は、自分一人で何回書いて練習しても絶対に上達しません！それは、書き方には秘訣があるからです。教採の論文は「書く面接」です。就活の論文とは書き方が全く違います。したがって、企業と教採を併願する人は、2種類の論文を書くことになります。それは、かなり難しいです。法政大学教職課程センターの一番の強みは、教採論文指導にあります。毎年、年間400枚以上の論文を添削しています。今年は、センターの指導を受けて論文で不合格になった受験生はいません。安心して、「合格論文書き方講習(DVD 動画)」→「論文添削(30回以上)」に取り組んでください。

【第6条】面接試験は合格を勝ち取る最後の関門！

昨今の教採は人物重視なので、面接の配点が極めて高くなっています。公立私立を問わず、面接試験は2次試験で行われることが多いので、1次通過した人は全員同じ条件で面接試験に臨むことになります。つまり、1次試験は合格だけが重要で点数は関係ないので、面接試験には個人面接、集団討論、集団面接などがあります。法政大学では2月19日(水)にアナウンサーを講師に招いた「面接講習」を行います。その後、3月末までの1か月「第1回面接練習」を行います。そして、7月に1か月間「直前面接練習」を行います。これらは、学部・学年・キャンパス不問です。また、面接講習の動画はオンデマンド・コンテンツにあるので、2月19日までにログインして見ておいてください。

【第7条】教師養成塾のススメ！

最近、各自治体が地元出身の学生を優先して採用したいので、教師養成塾生を募集し、その修了生を優先して採用しています。受講料は、その自治体に合格すると免除になることが多いです。自分の地元であれば参加してみるとよいでしょう。募集時期は、2月～3月です。ちなみに、東京都は小学校教員志望者だけです。例を挙げておきます。

○千葉県・千葉市：「ちば！教職たまごプロジェクト」 <https://www.ice.or.jp/nc/shien/tamago/>

○横浜市：「よこはま教師塾アイ・カレッジ」

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/bosyusaiyou/i_college/

○川崎市：「輝け！明日の先生の会」

<http://www.kks-supportsakurane.jp/hp%20folder/04kyouin%20sibou/1kagayake%20sensei/29kagayakeannai.pdf>



★教職課程センター小金井相談室は、全力で皆さんの合格を応援します。頑張ってください！